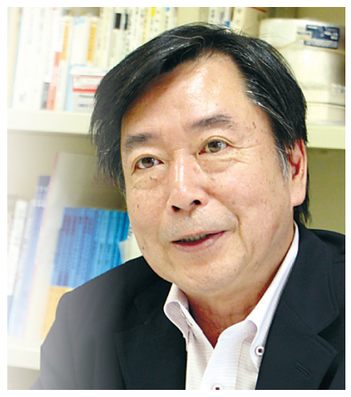
県立大学の軌跡

学部学科再編から4年目を迎えて

地域目線とグローバルな視野を

長崎県立大学は2016年度に学部学科再編を行い、地域目線とグローバルな視野の双方から変革を進めてきました。本年度の4年生が〝1期生〟になります。「KEN-SUN力（けんりょく）～地域から世界へ挑む長崎県立大学生」をディプロマ・ポリシーとして掲げ、その実現のため「長崎とNagasaki」「知識と知恵」「尊重と主張」「想像と創造」「挑戦と継続」「自立と自律」という六つの目標を定め、学生が自ら学ぶ実践的な教育の場を提供しています。学科長らから特色ある学びや育てたい人材などについて話を聞きました。



経営学科
学科長　鴻上　喜芳 氏

企業経営担える力養う

九州の国公立大学では唯一の経営学部で、豊富な講師陣をそろえています。学部学科再編前の流れもあり、流通と会計の領域にも強く、卒業後に企業経営を担うための必要な学びが充実しています。

その一つが、実際の経営課題などに取り組む「地域における経営実践」と「地域と企業演習」です。3年次の選択必修科目となっており、地元企業をはじめ、道の駅や商店街などが抱える課題について、現場での実習や調査を行い、解決策の提案へつなげます。問題発見と課題解決の力が備わります。

専門的な資格取得を進級・卒業要件に定め、幅広い業種で活躍できる人材育成を目指しています。本年度から学修・研究したい地域課題が明確な高校生らを対象にしたAO入試を実施する予定で、さらに高いレベルで課題研究に取り組めるように準備を進めています。

国際経営学科
学科長　岩重　聡美 氏

グローバル人材を育成

「グローバルに活躍したい」という学生の夢の実現に向けて、経営学の知識とともに、実践的な英語力の習得に力を入れています。

1年次にはフィリピン・セブ島での約3週間の語学研修、3年次には必修科目「海外ビジネス研修」があり、その参加条件としてTOEIC®の目標スコア730点を設定しています。セブ島では勉強漬けの毎日ですが、研修を終えたどの学生の顔も充実感に満ちあふれています。

〝世界の舞台〟で力を試す海外ビジネス研修はシンガポールやベトナム、タイの日系企業で実践を積みます。実務をこなしながら異なる言語や文化、宗教などにふれて多様な価値観を理解し、国際的な経営感覚を身に付けることを目指しています。この経験でたくましさも増します。学生の内定先を見ても夢の実現につながっているのではないかと感じています。

公共政策学科
学科長　車　相龍 氏

地域ニーズくみ取る力

全国的にも珍しい経済学ベースの政策関連学科です。地域の経済と産業の仕組みを理解することを意識した公共政策の学びを提供します。3年次に取り組む選択必修科目「公共機関インターンシップ」は本学科の特徴の一つで、地元の市や町など〝行政現場〟で地域のニーズを肌で感じ、その後の学びや進路に生かします。

また、もう一つの選択必修科目「公共政策実習」は地域で課題となっている事例を学生が見つけ、その解決に取り組むというものです。フィールドワークを重視し、時代の流れと地域のニーズに応えられる人材の育成に貢献したいと考えています。

多様化する暮らしの状況に即した新しい地域づくりが求められています。フィールドワークで身に付けた社会調査の知識や技術を使って社会事象を捉えることができる人材を送り出していきたいと思います。

実践経済学科
学科長　鳥丸　聡 氏

地域経済へ理解深める

人口減少、買い物弱者の増加、農林水産業の6次産業化…。長崎県内には多くの課題があります。長崎で解決できれば、国が抱える課題も解決できると考えています。2年次には地元企業のトップの講話を聞く「ビジネス経済の実践」があり、現役で活躍する経営者の話に刺激を受けるでしょう。

3年次では「長崎白書実践演習」と「地域企業研究」を選択必修科目とし、地域課題の解決策を探ります。「長崎白書実践演習」では本県の課題や現状を分析した「白書」づくりを行います。「地域企業研究」では、地元企業での学外活動を通じて地域経済への理解を深めます。

教科書を1ページ目から学ぶスタイルではなく、突き当たった課題を調べ、自らの引き出しを奥深くし、数を増やしていくことを目指します。社会に出て、物事に挑戦できる素地づくりを支援したいと考えています。

学生支援部
部長　山田　譲二 氏

明確な卒業要件を設定

本学教育の特徴は課題解決型のカリキュラムです。全学生必修の「しまなび」プログラムは離島でのフィールドワークなどを通して地域の課題に気付き、その解決策を考え提案することに取り組みます。

さらに「海外ビジネス研修」「企業インターンシップ」といった長期にわたるインターンシップは、他大学にはない実践的教育と自負しています。また、学科ごとにTOEIC®や日経テスト、情報処理技術者試験など進級や卒業に必要な条件を設けており、社会で即戦力となるスキルの習得に努めます。

1年次からキャリアデザインの授業を組むなど学生のキャリア教育にも力を入れています。2018年度の就職率は過去最高（99・2％）となりました。今後も教職員が情報を共有し、学生の夢の実現を応援していきます。

国際社会学科
学科長　森田　均 氏

活躍の場はグローカル

国際関係とメディア研究を二つの柱としてローカル、グローバルの両面から社会について考えられる人材の育成を目指しています。

高い語学力を獲得させるため3年次進級と卒業判定では外部試験の成果を要件としています。学生は、英語あるいは中国語を選択して語学科目から専門科目の一部を言語別に学習します。

2年次には英語圏や中国の大学などで語学研修を受けます。また、タイのタマサート大学ジャーナリズム・マスコミュニケーション学部との交換留学では、本学科と共通する内容の教育が全て英語で行われています。

3年次には自治体や企業で長期間のインターンシップを行います。こうした教育を通して、学生は旅行・観光業界、官公庁、メディア産業などを目標としています。ここで学び、自らの希望をかなえて活躍してくれることを願っています。

情報システム学科
学科長　有田　大作 氏

効果的な情報伝達学ぶ

プログラミングなど情報技術だけでなく、情報をどう分かりやすく、効果的に人に伝えられるかを学ぶのが学科の特徴です。

情報工学、情報デザイン、情報コンテンツなど多彩な専門分野の教員によるプログラミング演習、データベース論や情報デザイン論、色彩学、グラフィックデザイン、サウンドデザインなどの幅広い専門科目を備えた学科は他にそうはありません。半年かけて設計したスマホアプリを、残り半年で開発する演習もあります。

ウェブサイトやアプリを作る際、デザイナーとエンジニアがチームを組む例が多い中、両方が分かる人材の育成を目指しています。基本情報技術者試験合格を卒業要件とし、学生の進路はIT企業、CG制作会社、ゲームメーカーなどが想定されます。好奇心が強く何かを作るのが好きな学生なら、面白い体験ができます。

情報セキュリティ学科
学科長　永野　哲也 氏

即戦力の人材を育てる

コンピュータのセキュリティに関する人材を育成する日本初の学科として立ち上がり、4年目を迎えました。数学に基づくコンピュータ科学の基礎勉強をみっちり行うとともに、実践的な教育を行っています。

最新技術を用い安全に演習を行う「セキュリティ演習室」では仮想環境で学生がネットワークに対する攻撃者、防御者になって学習することができ、情報関連企業へのインターンシップも体験できます。コンピュータに限らず、リスク管理や情報倫理・著作権（法律）など幅広く勉強します。

卒業時に一般的なシステムエンジニア（SE）になる能力を十分身に付け、即戦力となる人材育成を意識しています。全体的に企業はセキュリティに関する人材が不足しており、需要は高い状況にあります。コンピュータを使い問題解決を図りたい意欲を持つ学生を求めています。

看護学科
学科長　河口　朝子 氏

地域志向で実践力養う

看護学科は「出口」がはっきりしています。看護師や養護教諭を養成すること。保健師や助産師の資格取得を目指して大学院に進学する学生も支えます。

看護は「実践の科学」といわれ、座学で知識や理論を身に付け、実習を経て知識と技術を統合することが大切です。県内の病院で副看護師長などで活躍する卒業生が実習を指導してくれるのも強みで、多様な患者を知るシミュレーション教育も進めています。地域志向も学科の目玉です。離島に出向いて住民の健康状態や生活習慣などを調べる「しまの健康実習」、雲仙普賢岳噴火の被災地で治療の優先順位を決めるトリアージなどを学ぶ「災害看護学実習」を用意しています

学生が「人が病むとはどういうことか」「人が元気になるため自分に何ができるか」を考えられる人間になれるよう教育しています。

栄養健康学科
学科長　古場　一哲 氏

栄養学の専門家を養成

栄養学の専門家として社会の幅広い分野で貢献できる人材を育てるのが一番の目標です。栄養健康学科では栄養科学と健康科学の基礎と応用を総合化した教育と研究を推進しています。

管理栄養士の資格を取得したうえで、病院や保健所、福祉施設で働く人材、学校の栄養教諭となる人材、食品メーカーなどの企業で商品開発職に就く人材などを育成します。

1学年1クラス40人に20人の教員が関わり、よく目が行き届くのが特徴。栄養学に関する基礎から応用分野までを体系化したカリキュラムを用意し、座学の後に実験や実習で学習を定着させていきます。自らのテーマに取り組む卒業研究にもかなり力を入れています。そして大学院は博士後期課程まであり、研究者を養成しています。

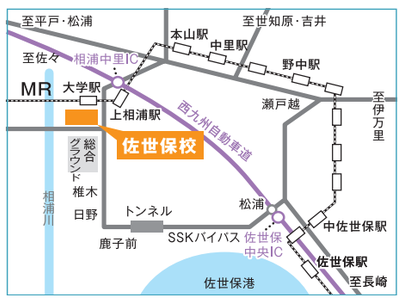
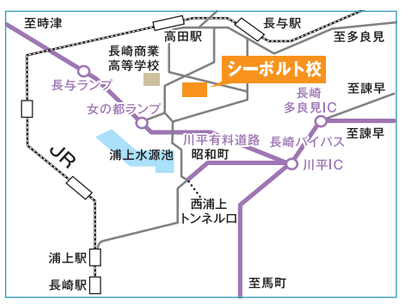
食べ物や運動と健康、栄養に興味がある人、極めたい人はぜひ入学していただきたいと思います。

無料送迎バスあり　当日参加OK！

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

詳しくは大学ホームページで
http://sun.ac.jp/
長崎県立大学 オープンキャンパス　検索

学生支援課　事前お申込みは大学ホームページ、電話、FAXで受け付けます。

佐世保校　佐世保市川下町123
TEL 0956-47-5703　FAX 0956-47-4616

シーボルト校　西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
TEL 095-813-5065　FAX 095-813-5222